

令和5年度全建賞 推 薦 調 書  
**インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)**

ふ り が な	とやましげいじゅつぶんかほーるちゅうほーるせいびかんみんれんけいじぎょう
1. 事業(施策)の名称	富山市芸術文化ホール中ホール整備官民連携事業
2. 事業(施策)実施期間	令和2年3月13日～令和20年3月31日(施設整備完了:令和5年3月31日)
3. 事業費(工事費)	7,776百万円
4. キーワード	PFI事業、官民連携事業
5. 事業概要	<p>既存の富山市芸術文化ホール大ホールに隣接する北側市有地で中ホールを整備する PFI 事業と余剰地を民間企業に売却し民間複合施設を整備する民間付帯事業を一体的に行う整備事業である。中ホールは令和5年3月31日に竣工、同年7月1日に開館した。民間複合施設については、令和5年度末に完成予定である。</p>

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	( ) ( ) ( ) ( )	(b)PFI 事業と余剰地における民間付帯事業を一体的に実施することで、民間企業との連携を図り、余剰地の最適活用を図る。
アピールする 2)「秀でた成果」	( ) ( ) ( ) ( )	(f)余剰地における官民連携事業として、敷地全体の魅力向上を図ることで、にぎわいを創出し、都市の活性化に資する。

7. 特にアピールしたい点	<p>コンパクトシティ施策の中核となる中心市街地内において PFI 事業と、余剰地を活用した民間付帯事業を一体的に実施し、官民が連携した公共空間において多様なイベントや日常利用が可能な空間づくりを行うことで、富山駅北エリアの拠点として、人々の交流を生み出すとともに、回遊性やにぎわいを創出し、都市の活性化に寄与できると考えている。</p>
---------------	---

## 8. 事業を代表する写真及びキャプション



富山市芸術文化ホール中ホールの座席



ストリート空間におけるイベントイメージ

## 9. 事業内容・添付資料

### 【事業概要】

芸術文化ホールの更なる活性化を図るため、平成26年度に市が設置した「富山市芸術文化ホール活性化検討会議」において、ハード面からの活性化という観点で「中規模のホールの整備の検討」が掲げられ、「演目の幅がより一層広がり、利用が促進されるよう、富山市芸術文化ホール大ホールの北側市有地の活用も含めた中規模のホールの整備について検討されたい」との意見があったことを受け、「第2次富山市総合計画」において、その整備方針を示した。その後、中規模ホール整備基本構想において、施設の構成と機能、さらに施設整備と管理運営の考え方等の整理を行い、「大ホールと連携し、市民の芸術文化活動の充実に資する施設」、「多様な芸術文化に親しむことができる施設」、「市民ニーズに合った、市民が使いやすい施設」を基本方針とし、PFI事業により、富山市芸術文化ホール中ホールの整備(令和5年3月31日竣工)を行った。

中ホールは最大652席の可動式客席を備えており、収容人数の多い大ホールでは開催が難しかった公演をはじめ、比較的小規模なグループや地域の芸術文化団体の活動及び学校行事にも気軽に利用できるほか、館内には音楽やダンス、アートなどのイベントにも気軽に使える練習室(3室)や音楽鑑賞室を整備した。

また、敷地全体に対し、中ホール整備で必要とする敷地面積が半分以下となることから、余剰地を売却し、民間付帯事業と一体的に実施することで余剰地の最適活用を図り、敷地全体の魅力向上に繋げることとした。

### 【民間付帯事業に対し本市が示した条件】

路面電車の南北一体化を見据え、コンパクトシティ施策における富山駅北エリアの拠点として、人々の交流を生み出すことでにぎわいを創出し、まちの活性化に資するとともに、大ホール及び中ホールに隣接する特性を理解したうえで計画を条件とした。

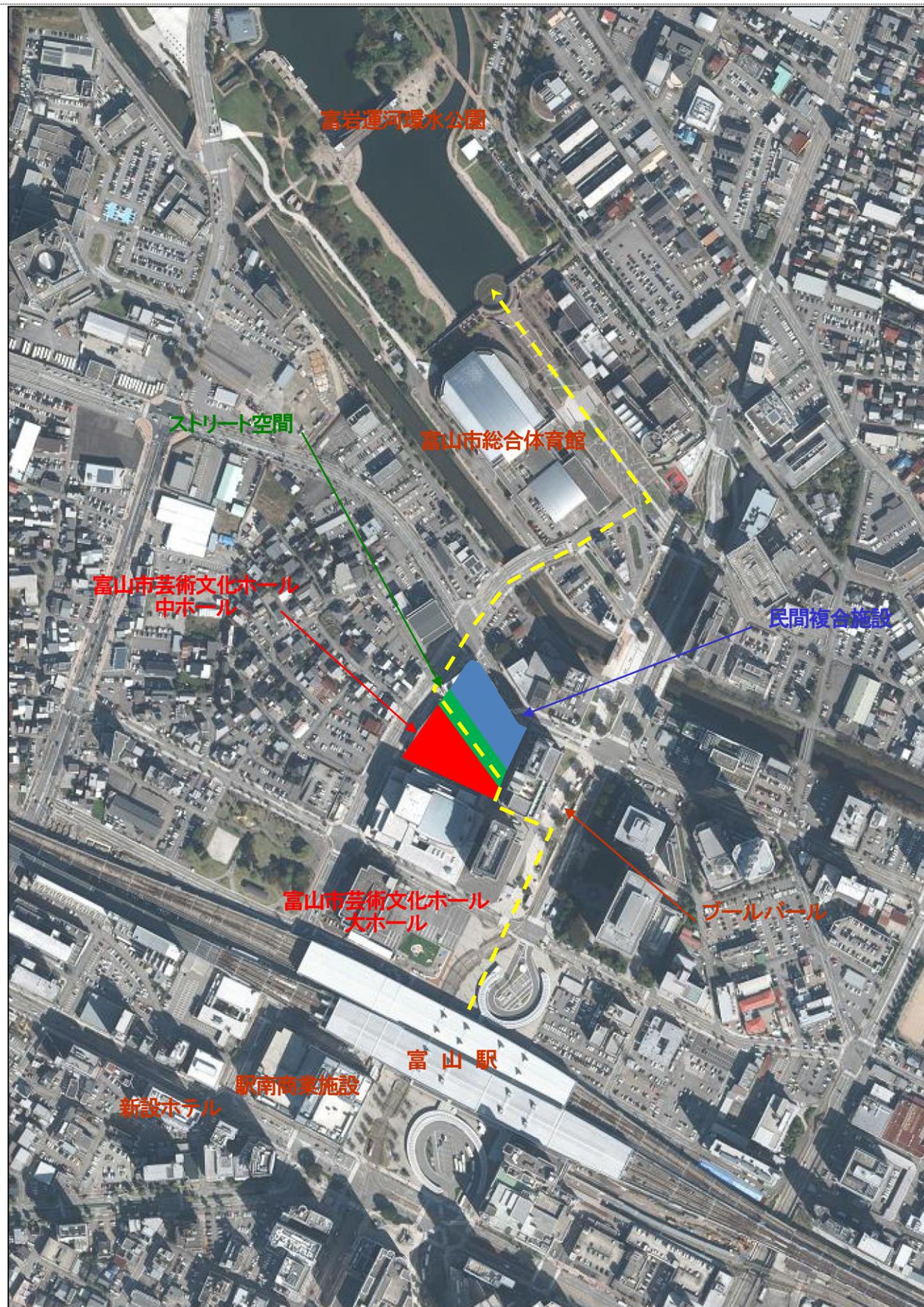
### 【民間付帯事業による複合施設誘致の効果】

中ホールの北側には、7階建ての民間複合施設の整備が進められており令和5年度末に完成予定である。1階にはカフェなどの飲食・物販施設が、2階から7階には最大で約50社・約1,000人の就業を見込むオフィスが整備される予定であり、駅南の新たな商業施設やホテルの開業に加え、駅北では金融機関の本部機能の移転や商業施設の開発が予定されていることから、これらの商業・観光・文化等の分野を横断した開発を通じ、エリア全体の魅力や付加価値はさらに高まるものとする。

官民連携で進めるこの事業は、市民の活動の「舞台」を用意するものであり、このエリアに集う「人」が「演じ手」となり、例えば、中ホールや近接する富山市総合体育館で、一流の演劇やプロスポーツを鑑賞した後、興奮冷めやらぬまま、民間複合施設の飲食店や歩行空間(ブルバール)上のテラスでお酒を嗜みながら、隣り合った人々と感動を語り合ったり、民間複合施設の飲食店等でテイクアウトした料理やお酒を中ホールに持ち込み、仕事帰りに上質な音楽や演劇を楽しむなど、それぞれの物語を楽しんでいただくことで、人々の潤いのある営みが場の力を高め、更なるにぎわいを創出するといった正のスパイラルに繋がることを期待している。また、駅周辺の公共施設と民間の複合施設が相互に補完しながら、エリア全体の価値とその場に集う人々の満足度を高めるといった、新たな官民共創の形を示唆できるものとする。

そのほか、中ホールと民間複合施設の間民間付帯事業にて幅約12m×延長約100mのストリート空間を整備しており、官民が連携して公共空間を整備することにより、単なる通路空間ではなく、地域の広場として、多様なイベントや日常利用が可能な空間となり、駅から富岩運河環水公園や富山市総合体育館への回遊性を向上させ、エリアの賑わいを創出し、都市の活性化に寄与するものとする。

9. 事業内容・添付資料



出典: 富山市撮影の空中写真(令和5年度撮影)